

（主な意見・質問）

（意見）統合後、川上地区の子どもたちがスクールバスで神山小に通う時に、最寄りのバス停から神山小まで歩くようになれば、交通事故に遭わないか不安であるとの声があったが、市長をかこむ会で、市長から旧神山幼稚園の跡地にロータリーを作って、そこで子どもたちが乗降できるようにするという回答があり、不安が解消された。

（答）市長が言われたように旧神山幼稚園跡地にバスの乗降場所を設置する予定である。また、川上小学校の児童数が最大で35人だとすると、中型バスであれば1台で全員が乗車することができるが、狭い道に入ってもバスが回せる場所が必要となり、乗降場所も限られてくるので、ハイエースなどの14人乗りや10人乗りの車を数台用意し、運行することも含めて検討していきたい。

（問）跡地利用について、川上小のグラウンドにみかん倉庫を建てたいが、川上地区にとってもグラウンドは大事なので、この会だけで決めるのは難しいのではないか。

（答）この会は、地区の代表者が集まっているので、地域の意見を拾い集めて、地区にとって必要だと思うものを、この会で発言してほしい。

（意見）学校の授業が終わり、そのまま帰宅する子もいれば、時期によっては、学校で陸上練習する子や音楽会の練習をする子もいるので、スクールバスは、中型バスではなく、数台の小型車などで運行してほしい。

（答）中型バスで運行する場合は、行きの便については1台で問題ないが、帰りの便は、帰宅時間に応じて、中型バスを数回走らすこともできる。購入するバスの納期も含めて検討していきたい。

（問）冬の時期は、暗くなるのも早いので、川上小では17時までに帰宅するという決まりごとがある。17時を過ぎる場合は、保護者が学校まで迎えに来るようにしているが、統合後、川上地区の子どもたちが神山児童クラブを利用する場合、スクールバスの利用はどうなるのか。個人的な意見としては、保護者が神山児童クラブまで迎えに行くということで良いと思う。

（答）保護者の仕事の都合で神山児童クラブを利用する場合があると思うが、その場合は保護者の送迎になると思う。

（問）私もスクールバスは、狭い道でも運行できるよう小型車にして、できれば、川上小学校を1周できるよう、乗降場所を多く設定してほしい。

（答）ジャンボタクシーであれば、ある程度の狭い道でも進入できると思うので、その点も含めて検討していく。帰りの便については、授業が5時間目で終わる便、6時間目で終わる便、それから音楽会や陸上大会の練習後の便が必要となるので、最低でも3便は必要になると思う。

（意見）スクールバスに子どもたちを乗せる時は、必ず先生や運転手による点呼をお願いします。

（意見）子どもたちがスクールバスに乗車したことが確認できるよう、スマートフォンなどのアプリケーションを使って、保護者や先生、バスの運転手が皆で共有できるような仕組みを作ってほしい。

（意見）以前の小学校では、子どもが欠席する時にはスマートフォンのアプリケーションを使って学校に

連絡していたので、わざわざ電話連絡する必要もなく、保護者にとっては良かった。

(答) そのようなアプリケーションは、沢山あるので、今後検討していく。

(意見) 跡地利用について、旧舌田小の宿泊施設マンダリンのようなものがあればいいと思う。

(意見) 川上小を宿泊施設に利用する場合、耐震性の問題はないのか。

(答) 現在の川上小の校舎は耐震基準を満たしていないので、跡地利用の目的に応じて、今後検討する必要がある。地域の意見を拾い集めて、次回の地区協議会で発言してほしい。

(問) 先ほどの話の中で、放課後児童クラブの利用について話があったが、統合後、川上地区の子どもたちは、川上地区の児童クラブでも神山児童クラブでも選択できるということか。

(答) 統合後、川上地区のほとんどの子どもたちは、川上地区の児童クラブを利用すると考えているが、親御さんの仕事の関係などで、神山児童クラブを選択する場合もあると思う。

(問) 現在の川上地区の児童クラブは、自主運営型と説明されていたが、どのように運営されているのか。

(答) 神山児童クラブは公設のため、市の子育て支援課が指導員を公募しているが、川上地区の児童クラブは、地域で指導員を探す必要がある。自主運営に係る経費は、市が補助している。

(意見) 指導員が見つからなかった場合のことを考えると心配である。自主運営だとしても、市の方で指導員を探してほしい。

(答) 川上地区の児童クラブは、自主運営型ではあるが、市も関わりながら、地域の相談に乗っている。

(問) 上泊地区であれば、スクールバスの乗降場所はどこになるのか。

(答) 乗降場所については、まずは安全な場所、そして車の離合や回しやすい場所などを考慮する必要があるので、この会が終わった後に皆さんからの情報を得たいと考えている。

(問) 川上2部消防団の詰所が統合により使用されていないので、そこをスクールバスの待合所にするか。

(答) スクールバスは上泊地区からスタートすることになるので、そこが待合所に適しているか検討する。

(意見) 災害が起きた時の避難所は、川上地区公民館や川上小学校体育館となっているが、教室も避難所として利用すれば、避難者のプライベートが守られると思うので、検討してほしい。

(答) 学校全体が避難所に指定されているので、校舎も体育館も避難所である。ただ、避難生活が長く続いた場合は、学校も再開しないといけないので、避難者は体育館などに移動する必要がある。また、南海トラフ地震による津波が発生した場合は、必ずみかん山などの高台に避難し、津波の心配がなくなってから、使用できる建物に避難することになる。

(問) 今の関連で、子どもたちがスクールバスで新しい学校に移動中、南海トラフ地震が発生した場

合、運転手はどのように対応するのか。市は、対応策や連絡体制を整えているのか。

(答) 南海トラフ地震が発生した場合は、学校が危機管理マニュアルを作成しているので、それに基
づき対応する。

(意見) 過去には、炎天下の中、スクールバスに子どもが置き去りとなり、死亡した事故があったが、そ
のようなことが起きないように、乗降に際しては、必ず点呼するなど、安全対策を徹底してほしい。

(答) 保育所や幼稚園の送迎時の事故であり、そのような事故が起きないように市や学校が安全対策
を徹底していく。先ほどもあったが、登下校時の乗車情報を管理するアプリケーションが沢山開発さ
れているので、どのアプリを利用するかも含めて検討する。

(意見) 私は、川上地区に移住してきた理由の一つに、少人数の学校に子どもを通わせたいという思
いもあったので、今回の学校統合は残念である。

(問) 過去の説明会での質疑応答を見ると、参加者からは統合後の意見や要望が多く、概ね理解
が得られたと書かれているが、それは教育委員会から事前に統合の賛否は問わないと説明があつた
ことが影響していると思う。都合の良い解釈ではないか。

(答) 以前は、統合の賛否を問っていたが、第二次実施計画の後期計画では、統合の賛否は問わ
ないとした。その理由として、教育委員会としては、ある程度の集団の中で子どもたちが学び、切磋
琢磨する教育環境づくりが大切であると考えているので、小学校であれば 1 学級 25 人程度とし、
1 学年 1 学級、全体で 150 人程度としている。その中で、様々な意見を拾い上げながら、統合
に向けて進めている。

(意見) 川上保育所の建物が古く、駐車場もないので、川上小学校跡地に川上保育所を新設して
ほしい。

(答) 南海トラフ地震が発生した場合には、9 m の津波が予想されている。この地域で見ると、川上
小学校や公民館、川上保育所は津波浸水想定区域であるが、少しでも高い位置にある保育所
は重要な施設である。災害には、大雨による土砂災害などもあるので、災害に応じた対策を検討
する必要がある。

(事務局) 川上小及び双岩小、神山小の 3 校が統合した場合の新設校名を（仮称）八幡浜南
小学校としているが、この件について、意見を伺いたい。

(意見) 先ほどの事務局説明で八幡浜南小学校とした理由も理解したので、新設校名は八幡浜南
小学校で良いと思う。

(意見) 川上地区には、高齢者が多くいるが、その人たちが、この地域の礎を築いてこられたと思っ
ている。地域説明会は、1 回だけの開催だったと思うが、その人たちの意見をもう少し聞いてほしかつ
た。

(問) 新設の小学校は、各学年 1 学級となるのか。

(答) 新設の小学校は、各学年 35 人程度となる見込みなので、1 学年 35 人以下であれば 1 学

級となる。特別支援学級の子どもを除いて、36人以上になれば2学級になる。

(問) 私は、学校統合は仕方のないことだと思っているので、前向きに考えているが、川上地区の子どもたちがいきなり大人数の学校に行き、勉強についていけるのか心配である。川上小学校の教員はどの程度、新設の学校に配置されるのか。

(答) 新設校の教員配置は未定であるが、例えば、双岩中と八代中が統合した時には、双岩中で指導していた教員が数名配置されている。青石中と保内中が統合した時も、両校の規模が同程度だったので、青石中、保内中、他の学校から概ね1/3ずつ配置した。可能な限り、子どもたちに関わった教員を新設校に配置できるように配慮する。

(問) 今後の保護者説明会は予定されているのか。

(答) 令和5年度に保護者説明会、今年の7月に地域説明会と手順を踏んでいる。保護者説明会の要望があれば開催することもできるが、今回の川上地区協議会にはPTAの代表者が4名出席されているので、例えば、PTA総会やいろいろな集まりの中で、保護者の意見を取りまとめて、この場で発言していただければと考えている。

(問) 先ほどの説明では、1学年35人だった場合は、1学級になるということだが、その場合、担任も一人になるのか。それとも、副担任が配置されるのか。

(答) その場合は、教員は一人である。

(意見) 川上小学校は、少人数のため、先生に手厚く指導してもらっているが、統合後、35人学級で授業を受けることになれば、勉強についていけなくなる子どももいるのではないかと心配する。例えば、最初の1～2カ月は、先生の数を増やすなど、子どもたちのフォローをお願いしたい。

(答) 現在、神山小学校を含めて、市内の4校に外国語専門の教員が配置されている。学級数に応じて、教員の数が決まっているが、そのような加配も含めて、教員の数を増やせるように努力する。

(意見) 統合前に、川上小や双岩小の子どもたちが神山小に行き、一緒に授業を受けたり、給食を一緒に食べたりする場を設けてほしい。また、保護者の中にも神山小に行ったことがない人もいると思うので、保護者がそれを見学できるような機会があれば良いと思う。

(答) 中学校の統合に伴う生徒間交流に関して言えば、毎年実施している職場体験において、例年であれば、Aという会社にA中学校の生徒のみが参加していたが、今年は、AとBの学校が合同で職場体験を行った。また、新しい校歌が完成した時には3校の生徒が集まって、一緒に校歌の練習をすることを考えている。小学校においても子どもたちや保護者の交流を考えていく。

(意見) 今後、小学校においても子どもたちの交流の機会があれば、小学校に通う保護者だけでなく、保育所に通う保護者にも周知してほしい。

(答) 周知する。

(問) 神山小学校には、課外のクラブ活動があるのか。

(答) 小学校の活動は、陸上練習や水泳練習、音楽の練習だけだと思うが、スポーツ少年団や陸上のクラブチームに所属する児童もいる。

(問) スポーツ少年団や陸上のクラブチームに所属する児童の送迎は、保護者が対応するというでいいか。

(答) そのように考えている。

(意見) 統合してからも、改善点や要望等が見つかるかもしれないので、川上地区協議会は、年に1回でも良いので、継続して開催してほしい。

(答) 地域からの要望や意見などを聞く機会が必要だと思うので、川上地区協議会の名称やメンバー等が変わるかもしれないが、継続できるよう検討する。

(意見) 川上小学校は、山間にあつて、農作業をしても、子どもたちの声が聞こえてくる。小学校が閉校になると寂しくなるので、月に1回でもいいので、授業の一環として、川上地区で町内探検などの課外活動を行ってほしい。

(答) 統合後の課外活動については、具体的に決まっていないが、地域の意見として受け止める。

(意見) 放課後になると、近所のお母さんたちが小さな子どもを連れて、川上小に集まり、子どもたちを遊具で遊ばせているので、統合後も川上小の遊具を管理してほしい。

(答) 跡地利用が決まるまでは、地域の子どもたちが学校の遊具を使うことに問題はない。例えば、遊具を残したまま跡地利用を考えてほしいなど、いろいろな意見があると思うので、地域で相談してほしい。

(問) 遊具の安全点検や修繕にお金がかかるので、統合後は使えなくなる遊具が多くなるのではないか。

(答) 統合後も跡地利用が決まるまでは、学校教育課の所管となるので、点検や修繕を行うようにする。